

『グリーン・エコプロジェクト』が東京都の世界初の評価制度に全面協力

東京都は、貨物運送事業者を評価する世界初の「貨物輸送評価制度」を2012年度より実施(2013年度から本格施行)することになりました。

この新たな仕組みを構築するにあたり、『グリーン・エコプロジェクト』が全面協力し、制度設計に必要な指標の基礎となる燃費データを提供。これにより、トラックの実走行燃費のベンチマークを設定・評価する世界初の指標を開発し、3段階の評価で格付・公表できることになりました。

また、運送事業者のCO₂削減に関する継続的な努力を評価する指標となり、この評価を受けた運送事業者を東京都が公表し、評価結果をアピール。荷主や消費者に評価を受けた運送事業者の利用を推奨して、さらなるCO₂削減への貢献を高めるものです。



貨物輸送評価制度ステッカー

グリーン購入ネットワーク(GPN)の日本初の「輸配送(貨物自動車)契約ガイドライン制定に協力

グリーン購入ネットワーク(GPN)は、2013年8月、日本初の「GPN-GL19輸配送(貨物自動車)」契約ガイドラインを制定しました。

この新たなガイドライン制定にあたり、2012年7月研究会を発足し検討、2013年4月より企業・行政・民間団体のメンバーで構成するタスクグループへも参画し、ガイドライン策定にあたって、尽力しました。

本ガイドラインは、輸配送分野における温室効果ガスの削減を目的として、CO₂排出量の比較的多い貨物自動車に焦点を置き、荷主がグリーン購入の一環として考慮すべき項目(39項目)と、環境負荷低減に積極的に取組み第三者評価された貨物運送事業者を荷主が優先採用する仕組みを日本で初めて構築しました。

なお、環境負荷低減に積極的に取組み第三者評価とは、東ト協の『グリーン・エコプロジェクト』への参加(1年以上)、東京都の『東京都貨物輸送評価制度』認定事業者などです。

また、荷主及び貨物運送事業者は、本ガイドラインに基づく輸配送の環境取組を社内外にアピールする仕組みとして、『GPN輸配送シンボルマーク』の利用が可能となります。



GPN輸配送シンボルマーク

グリーン・エコプロジェクト ホームページ



<http://www.tta-gep.jp>

Home Page



Facebook



一般社団法人 東京都トラック協会
グリーン・エコプロジェクト事務局

〒140-0004 東京都新宿区西谷3丁目1番6号
TEL.03-3359-6670 FAX.03-3359-6674

環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト

Green eco project



CO₂ 排出抑制

一般社団法人 東京都トラック協会
TOKYO TRUCKING ASSOCIATION

未来のために私たちができること

環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト



経営改善につながるグリーン・エコプロジェクト (GEP)

東京都トラック協会は2006年に全国に先駆け、地球温暖化防止に向けた独自のCO₂等削減対策を盛り込んだ『グリーン・エコプロジェクト』を立ち上げました。

『グリーン・エコプロジェクト』の活動では、車両ごとに収集した燃費からデータベースを構築し、継続的なエコドライブ活動の推進・支援を行い、CO₂排出量の削減や燃費向上に伴うコスト削減、事故防止等に向けた取り組みを展開しています。

『グリーン・エコプロジェクト』では、経営者・管理者・ドライバーの従業員一人一人が環境意識を高め、社会貢献・社会責任を主軸とした「環境CSR(環境から進める経営改善)」を目指しています。

また、レベルアップを図る研修セミナーを開催し、ドライバーのモチベーションアップのための環境関連資料や教育資料を提供するなど、環境問題へ能動的に取り組めるよう支援しています。



環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト

CO2 排出抑制

～未来のために私たちができること～

paper-and-pencil project

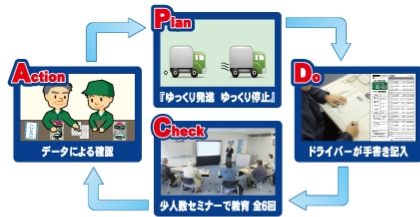
≪すべては1枚の紙と鉛筆から≫

『グリーン・エコプロジェクト』は、「走行管理表」という1枚の紙に毎回の給油量と走行距離を手書きで記入していくことから始まります。

車両ごとのデータ(車検証内容等)をもとに、「走行管理表」から燃費データを収集・構築し、データベース化を行い、これがCO2排出量などの基礎データとなります。

ドライバーが自分の燃費を把握できる「走行管理表」は、ドライバー同士のコミュニケーションツールとなっており、社内環境の改善にもつながります。

燃費を意識した運転はエコドライブだけではなく、事故低減にもつながり、さらに正確なデータを得ることができるため、経営改善に向けた武器となります。



※1 燃費データ分析システム(特許 3314870号)を運用

いたってシンプル

- ①ドライバーが給油時に「給油量」「走行距離」を走行管理表に手書きで記入
- ②記入された走行管理表を『グリーン・エコプロジェクト』事務局あてに送付
- ③事務局が燃費データを集計・分析し、燃費データベースを作成
- ④データベース化した車両ごとの燃費集計データを毎月グラフ化し、フィードバック
- ⑤フィードバックした最新の燃費集計データをもとに、ドライバー教育に活用

継続的なエコドライブ活動を推進し、CO2排出量の削減及び燃費向上、事故防止等に取り組む「グリーン・エコプロジェクト」。
ゆとりある熟練したエコドライブが、交通事故の低減にもつながっています。

ゆっくり発進 ゆっくり停止

グリーン・エコプロジェクト参加後、交通事故件数は約29%削減、損害金額は参加車両でみると、約53%も削減し、交通事故ゼロを目指します。

プロジェクト活動ツールの提供!

経営者・管理者・ドライバーによる推進体制の整備

社内体制の環境整備もプロジェクト活動を能動的に取り組むための手段になります。



継続的サポート!

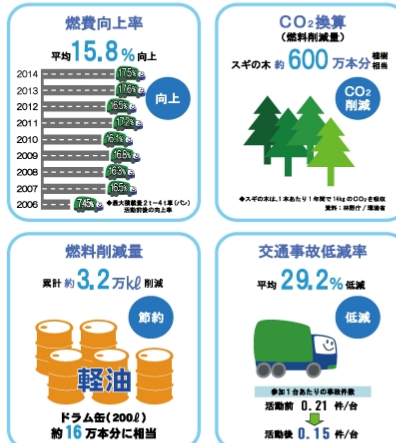
実践的なセミナーを通じて、継続的にサポートします。

『グリーン・エコプロジェクト』では、全6回の管理者を対象とする「研修セミナー」を毎月開催します。セミナーは、燃費集計データをもとに、「エコドライブ活動の進め方」、「ドライバーの教育方法」、「事故防止とDRの活用」、「社内ミーティングで活用できる教材の提供」など、ドライバー教育にも役立つ実践的かつ実践的な内容で実施します。1回10人程度の少人数で開催し、事業者ごとにアドバイスをを行います。

また、全6回のセミナーの後も、継続的なエコドライブ活動を行うため、「継続セミナー」を開催していきます。



9年間の実績



グリーン・エコプロジェクトのメリット
環境対策/燃料コスト削減/交通事故低減
社内コミュニケーションの活性化

活動に対する各種表彰



国際会議を通じ世界に発信



国連エコドライブカンファレンスで取組みを紹介



2014年10月17日に国連本部(米国・ニューヨーク)で開催された「国連エコドライブカンファレンス」(主催:国連WAFUN I F)において、東京都トラック協会「グリーン・エコプロジェクト」のエコドライブ活動の取組み内容を紹介しました。
カンファレンスには、各国の国連大使をはじめ 政府関係者、日米欧の自動車関連団体など約200名が出席し、日本からは環境省、日本自動車工業会、日本自動車取次協会連合会山形県支部、東京都トラック協会が参加しました。